

ブロードバンドスクールキャラバンの実施

-教員の ICT 活用スキル向上のために-

NPO 法人ブロードバンドスクール協会 事務局 小堀 敦

キーワード：教員研修，情報教育

1. はじめに

NPO 法人ブロードバンドスクール協会は、2002 年 4 月に 19 社 2 団体が集まって活動を開始したブロードバンドスクールコンソーシアムを前身としている。コンソーシアム時代の約 2 年間、普通教室での IT 活用や無線 LAN での校内ネットワーク構築など、学校がブロードバンド環境になった際に IT を生かした授業をしやすいするための提案を中心に活動してきた。

昨年 8 月に NPO 法人として活動を開始してからは、現場の先生方から意見を収集し、コンテンツ作成や授業案作成等、教育現場の先生方が IT を活用する際の支援策を活動の中心にすえ、今年度の E スクエア・アドバンス『IT 活用推進プログラム』に『IC タグと携帯端末を活用したデジタルマップ作成支援』が採用され成果発表する。

e-Japan 戦略により学校現場の IT インフラ整備は着々と進んでいるが、現場の先生方の意見では、まだまだ IT を理解しない教員は多く、スキルは向上していないという。そこで各地教育委員会と協働して『ブロードバンドスクールキャラバン』を開催し、教員の ICT 活用スキル向上を目指す活動も開始した。

2. ブロードバンドスクールキャラバンの概要

- (1) ノート PC を 20 台用意し、無線 LAN でネットワークを組む。
- (2) 研修会場にブロードバンド回線が用意されていないときは臨時に準備する。
- (3) カリキュラムは教育委員会の研修目的にあったものとするが、ブロードバンドコンテンツを活用して『子供達にとってわかりやすい授業』が行えることを体験・理解することを中心とする。
- (4) できるだけ一人 1 台の環境で研修する。(定員最高 40 人)

3. ブロードバンドスクールキャラバンの実践

- (1) 2004 年 8 月 26 日 27 日 鳥取県米子市 小学校研究部会 算数部会 情報教育研究会
講師：慶応義塾湘南藤沢中・高等部 田邊 則彦 教諭
内容：算数のコンテンツ
ネチケット・情報モラル教育



- (2) 2004年10月8日9日 宮城県登米地域
講師：早稲田大学本庄高等学院 半田 亨 教諭
内容：交流授業
セキュリティ・情報モラル教育



- (3) 2004年12月10日 東京都千代田区 番町小学校
講師：慶応義塾湘南藤沢中・高等部 田邊 則彦 教諭
内容：算数のコンテンツ
ネチケット・情報モラル教育



- (4) 2005年1月13日14日 北海道室蘭市
講師：慶応義塾湘南藤沢中・高等部 田邊 則彦 教諭
富山県立大門高等学校 江守 恒明 教諭
内容：パワーポイントによる画像を使用した教材作成とWeb化



4. まとめと課題

- (1) 教材コンテンツは無数にあり、自分が使いやすいコンテンツを探すのにも時間がかかってしまう。先生方にコンテンツを利用してもらうためにはコンテンツ情報を整理した情報も必要。
- (2) 授業実践を重ね、子どもたちの学力や国際性の向上に役に立つコンテンツ・指導案を増やす活動が必要。
- (3) 教材作成等、即授業に役立つ研修は熱気もすごい。